

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスあおぞら六木				公表日	令和7年3月11日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		8			今後も遵守していきます	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8		児童個人の物が分かるようにネームプレートを使用したり、児童が手に取れる位置に視覚(写真・絵)カードを置いている	バリアフリー化が必要な児童が入ってきた場合にその都度改善していきます	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8		毎日清掃を行っている	机、椅子などの配置は活動に合わせて移動しています	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8		個別に1部屋用意がある	場合によっては間仕切りなども使用して環境を整えています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		不定期でスタッフにアンケートや面談を実施し、振り返りをしている	定期的なミーティングでの通知を行い、議事録を残して振り返りを随時行っています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年アンケートを行っている	アンケートを基にミーティングで周知していきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的にミーティングを行っている	定期的なミーティングでの通知を行い、議事録を残して振り返りを随時行っています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		検討していきます	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		独自のマニュアルを作成し、社内研修を定期的に実施している	引き続き定期的に研修を実施していきます	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		H Pを見やすく改良しました	H Pにて公表していきます	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		ミーティング等で実際に支援に当たっているスタッフの意見も取り入れている	保護者との面談や支援スタッフの意見を取り入れ作成しています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		ミーティング等で実際に支援に当たっているスタッフの意見も取り入れている	保護者との面談や支援スタッフの意見を取り入れ作成しています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		ミーティング時に共有されている	定期的なミーティングでの通知を行い、議事録や児童の共有ノートでいつでも確認できるようにしています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		している	行動頻度観察シートやストラテジーシート、行動動機診断スケールなどを適宜活用している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			地域密着の観点から付近の高齢者施設との交流会を行っていく予定	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		常にチームとして動いている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		各プログラム実行中などの児童の変化を見逃さないようにその日のうちに聞き取りを行っている	今後もスタッフの意見を取り入れ、プログラムが固定化しないように工夫していきます	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		様々なプログラムを準備しておき、状況に応じて臨機応変に対応できるようにしている	今後も各児童に合わせた取り組みを個別、集団を組み合わせで行っていきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		当日の予定表で確認できている	引き続き行っています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終了時に聞き取りを行っている	引き続き行っています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		自己選択出来るようにおもちゃ表（視覚支援カード）を使用している	引き続き行っています
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校での説明会に参加している	引渡し時に児童の学校での様子を聞いている。必要があれば、電話で確認を取っている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	7		学校がメインで行っている為、保護者があまり必要性を感じていないが、必要に応じて提供できるように準備していきます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5	連携を取っています	管理者会や研修などに参加していきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	放デイの認知がされておらず、邪険に扱われることがあるので難しいと感じている	地域の子どもの活動を検討している
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		区が開催している協議会に参加している	引き続き行っています
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時にその日の出来事を伝えている	今後も連絡帳や送迎時に情報共有を行っています
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			都度行っています
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時にすべての説明を行っている	引き続き行っています
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			引き続き行っています
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者からのヒヤリングを行い出来る限り対応している	引き続き行っています

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	就労していて、学校の保護者会、面談、発表会、運動会等で時間が取れない保護者が多い	機会があれば検討していきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	保護者との連絡が密にとれるようにしている	都度対応していきます
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	・月1回あおぞらだよりを発行している ・HPに保護者専用ページを作っている ・必要都度お知らせを配布している	引き続き行っています
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	施錠できる箇所への保管している	引き続き行っています
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		機会があれば検討していきます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	定期的に研修や訓練をやっている	引き続き、一年間の安全計画に沿って行っています
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	対応マニュアルを作り対応している	今後も保護者の情報を基に対応していきます
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	薬服用時の摂取してはいけない食材の把握をしている	今後も保護者の情報を基に対応していきます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	色々なタイミングでの訓練をやっている。必要であれば改善している	引き続き行っています
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	防災マニュアルを配布し共有している	引き続き行っています
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	ヒヤリハット集を研修でやっている	定期的に見直しをしています
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	定期的に研修と委員会を開催している	引き続き行っています
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	定期的に研修と委員会を開催している	引き続き行っています	